

1. 件名：新規制基準適合性審査に関する事業者ヒアリング（島根2号機設計及び工事計画）【278】
2. 日時：令和4年9月26日 13時30分～17時15分
3. 場所：原子力規制庁 9階D会議室（TV会議システムを利用）
4. 出席者（※・・・TV会議システムによる出席）

原子力規制庁：

新基準適合性審査チーム

植木主任安全審査官、服部(正)主任安全審査官、三浦主任安全審査官、
藤川安全審査官、服部(靖)安全審査専門職、山浦技術参与
技術基盤グループ 地震・津波研究部門
堀野技術参与※

事業者：

中国電力株式会社

電源事業本部 担当部長（原子力管理） 他17名※

中部電力株式会社

原子力本部 原子力部 設備設計グループ 主任 他1名※

電源開発株式会社

原子力事業本部 原子力技術部 設備技術室 課長代理 他1名※

5. 要旨

(1) 中国電力株式会社から、島根原子力発電所2号機の設計及び工事の計画認可申請書のうち、耐震性に関する説明書（原子炉建物天井クレーンの耐震性についての計算書等）について、令和4年9月8日及び16日の提出資料に基づき説明があった。

(2) 原子力規制庁から、主に以下の点について説明等を求めた。

【燃料取替機の耐震性について】

- 燃料取替機構造物フレームのせん断応力の評価において、有効せん断断面積ではなく全断面積を使用していることについて、考え方を説明すること。

【チャンネル取扱ブームの耐震性について】

- チャンネル取扱ブームについて、鉛直上向き方向に対して拘束されていない回転ポストが、上向き方向に抜けないことを説明すること。

【制御棒貯蔵ハンガの耐震性について】

- 制御棒貯蔵ハンガのハンガ部の解析モデルについて、制御棒の拘束条

件として制御棒上端より全長の3分の2の位置をピン支持とするとしている考え方を説明すること。

- 燃料プール水位・温度（SA）の耐震性について計算書にある、排除水質量による応答低減効果に係わる低減係数について、設定内容を説明すること。

（3）中国電力株式会社から、本日説明等を求められた内容について了解した旨の回答があった。

6. その他

提出資料：

なし